

未病社会に必要なプレジジョン・メディスン（日本・海外の動向）

講師：佐藤孝明 特命教授
筑波大学プレジジョン・メディスン
開発研究センター長・iLac（株）代表



日時：2022年3月30日（水）17:00～
場所：名古屋市立大学桜山キャンパス
医学部研究棟11階 講義室A

本セミナーは、最先端の裏話も含めたいとの演者の希望によりオンライン配信は行いません。是非、会場にお越しいただき聴講ください。

筑波大学プレジジョン・メディスン研究開発センター（PMC）は、1,000ドルのゲノムシーケンス技術の開発を目指し、日本初のオミックス解析センターとして設立されました。本センターでは、島津製作所が提供する全ゲノム解析技術と高度な質量分析技術を用いて、がんやさまざまな疾患の正確な診断を行うための解析的・トランスレーショナルなアプローチを、データドリブン/エビデンスベースで行うことを目指しています。本センターは、予防医学研究のイニシアチブ機能を活用して総合的な健康診断を行うつくば予防医学研究センターと連携しています。また、国内外の有力な研究機関との連携を促進するため、PMCは国境を越えた学際的なネットワークづくりにも積極的に取り組んでいます。本センターは、一人ひとりに最適な治療法を改善・決定するプレジジョン・メディスンを実現するための研究インフラの構築を目指しています。さらに、スピノフしたバイオテック企業である株式会社iLACは、プレジジョン・メディスン、ヒューマノイド型ロボット、COVID-19 WGSの統合に主眼を置き、4IR（第4次産業革命）に貢献しています。本講演では、オミックス解析システムのてんかんや神経変性疾患分野への応用展開に関しても言及したいと思います。

世話人：山川和弘（医学研究科・神経発達症遺伝学分野）
TEL: 052-851-5612, E-mail: yamakawa@med.nagoya-cu.ac.jp